

第130回神奈川大学日本常民文化研究所研究会

個別共同研究「歴史民俗資料とデジタルファブリケーションの可能性の研究」第1回研究会

デジタルファブリケーションと 物質文化の接点を探る

道用大介 氏

神奈川大学日本常民文化研究所 所員
経営学部 准教授

日時：2022年3月23日(水) 17:30～19:00

会場：Zoomミーティング 【開場：17:15】



申込方法：ご参加希望の方は、右のQRコードよりお申込みください。IDとパスコードが自動返信メールにて送信されます。



主催：神奈川大学日本常民文化研究所

デジタルファブリケーションと 物質文化の接点を探る

3Dプリンターのようなデジタルファブリケーション機器を備えたファブラボという施設は世界に2000以上存在し、そのコミュニティでは「デジタル技術を使いながら自分たちで使うものは自分たちでつくる文化」と「その作り方などをインターネット上で共有する文化」が根付いています。

これは民具にも通じる新しい文化であり、さらにはその技術は歴史民俗資料研究での活用も考えられます。

今回は事例紹介などを通して、博物館機能強化に取り組む日本常民文化研究所でのデジファブ活用について皆さんと一緒に考えてみたいと思います。